

消費税  
5% なんでも減税  
だれでも減税

市議会  
議員

加増みつ子  
遠山ちえ子  
本田かずなり

# 明るい取手

2025年6月1日号

発行: 日本共産党取手市委員会

◆日本共産党取手市委員会の見解を紹介します。

302-0011 茨城県取手市井野 3-19-5

☎ 0297-72-7816 Fax 72-7817

https://jcptoride.com



## 6月取手市議会 6日開会へ

# 物価高から暮らしの困難打開を 日本共産党



区画整理終了後の手前A街区から交通広場・駅ビルを見る

参院選を目前に、通常国会が終  
盤（6月22日閉会予定）を迎える  
中、取手市議会は6月6日～19日  
までの予定で開催されます。  
コメをはじめ諸物価高騰の中、  
生活も営業も一層深刻さを増して

います。  
日本共産党加増みつ子・遠山ち  
え子・本田かずなり市議は、命と暮  
らし最優先の政策実現へ、市議会  
と国会を結び全力を尽くします。

### 開発・まちづくり・防災は住民本位に

◇駅前一極集中・再開発ありきの  
駅前開発改め、公共の福祉に  
基づき、地権者と市民の合意に  
よる駅前づくりを。  
◇水害から住民を守る双葉地  
域の内水防除対策促進を。

◇新川・新堀（二千間堤防下）  
埋め立てから自然と環境守る。  
◇政策決定も執行もトップダ  
ウンを改め市政に民主主義徹  
底を。

### 暮らしといのち・健康守る

◇ケアマネの更新費用助成と  
増員、訪問介護報酬引き下げの  
「撤回」求め、ホームヘルパー  
処遇改善・増員等、介護現場の  
実態把握と介護体制拡充・利用  
負担の軽減を。

◇国保税均等割りゼロ・所得割  
引き下げ、国保基金の活用で後  
期高齢者支援を。  
◇家賃補助制度創設、住まいと  
子育て、複数の政策パッケージ  
で住み続けられる街を。

### コメ不足・諸物価高騰 暮らしと食・農を守れ

◇コメ増産で国産米の適正価  
格で安定供給へ、減反・減産政  
策改め農産物の地産・地消で地  
元農業の持続・再生へ、取手が

ら農政転換を。  
◇消費税5%減税・インボイス  
廃止を求め物価高から暮らし  
と営業を守る



加増みつ子議員



本田かずなり議員



遠山ちえ子議員

## 参院選の一大争点

自民党の一部まで「消費税減税が必要だ」と言い出すなど、  
減税を求める国民の世論が政治を動かしています。問題はど  
こまで減税するか、財源をどうするか、です。

### 消費税は下げられます!

### ——消費税いますぐ5%で年12万円の減税を

物価高と低賃金に苦しむい  
ま、家計を直接支える一番の方  
法は「消費税の減税」です。

日本共産党は、消費税率を当  
面5%に引き下げ、インボイス  
は廃止。将来的には消費税廃止  
を目指します。

「財源はどうするの?」という  
疑問に対しても、私たちは明確  
な対案を提示しています。

年11兆円の大企業減税を  
やめ儲けに応じた負担、富裕層  
優遇の税制をチェンジ、軍事費

を抑制すれば十分な財源を確  
保できます。

庶民に重くのしかかる不公平  
な税制を根本から見直しまし  
ょう。

暮らしを守るために、消費税  
に頼らない公正な税制へ——  
あなたの声には、政治を変え  
る力があります。

日本共産党とともに、「消費税  
5%」を実現しましょう!

#比例は日本共産党

## 物価高から暮らしを守る

## 日本共産党の緊急提案

### 1. 消費税5%で年12万円の減税

大企業・富裕層優遇の税制をチェンジ。インボイスは廃止。  
一律5%減税で、平均的サラリーマン世帯で年12万円の減税に。

### 2. 物価上昇はねのける大幅賃上げ

中小企業を支援し最低賃金1500円、さらに1700円へ。  
物価高を上回る年金引き上げ、現役世代に“減らない年金”を保障。

### 3. 医療・介護の危機打開

診療報酬の引き上げ、医療・介護・保育で働く人の賃金大幅アップ。

3週間<sup>無料</sup>お試し  
キャンペーン

あなたの「知りたい!」がわかる  
しんぶん赤旗  
日刊電子版

スマホからは  
QRコードを  
読み込んでください



消費税  
廃止めざし

いま  
すぐ

5%

財源  
示す

日本共産党

# つくばエクスプレス 運賃大幅値上げを国交省に認可申請

首都圏への重要な通勤・通学の足として、多くの沿線住民に利用されるつくばエクスプレス。4月に、2026年3月から全体で12.2%の運賃値上げの許可申請を国土交通大臣に行いました。申請には「高すぎる通学定期代値下げを」の声を受け15.5%の値下



げが含まれていますが、普通運賃で8.2%、通勤定期代は、20.2%と大幅に値上げする計画です。

## 日本共産党 運賃値上げ中止求め要請

値上げの理由に、鉄道施設の大規模更新や混雑解消のための8両編成等を上げています。しかし、物価高の中、運賃値上げが強行されれば、家計に大きな影響を与えることは必至です。

5月26日日本共産党は、高橋誠一郎茨城県政策委員長、江尻加那県会議員、つくば、つくばみらい、守谷、取手市議が連名で鉄道会社に値上げ中止を求める要請書を提出しました。



### 高橋 誠一郎

(参院茨城選挙区予定候補)

通学定期の値下げは歓迎ですが、今でも常磐線よりも高い一般運賃の大幅値上げは、利用者に耐え難い負担です。値上げ中止へ皆さんと力を合わせます。

## 子どもたちに安全な食料を

第3回交流イベントの報告

5月24日(土)映画とパネルディスカッションを取手福祉会館小ホールで開催しました。今回、チラシは3千枚のみの配布でしたが、チラシを見た方からの問い合わせが多く、食と農への関心が高いことを痛感しました。映画「食の安全を守る人々」では、「ラウンドアップ」農薬の恐ろしさ、遺伝子組み換えやゲノム編集食品の危険性を被害者・研究者が伝えています。又、韓国の学校給食(無償・オーガニック)の様子、アメリカや日本で、安全な農産物をつくる生産者が紹介されました。

第2部は、本田和成さん(取手市議)が「小山市の有機農業の取組」、森博子さん(常総生協理事)が「安全な食べものをいただくために、私がしていること」、渋谷俊昭さん(県南農民組合組合長)が「農業生産基盤の弱体化」について、国の農政の転換の必要性について報告しました。

今回の参加は74名でした。さらにネットワークを広げ、未来の子どもたちのために、安全な食料を提供する活動が必要だと思えます。



稲が根を張り新米の収穫が待たれる桑原の広大な水田地帯(「桑原開発」予定区域)

「取手の食と農」をを考える

シリーズ第7 (最終回)

「食と農を考えると未来プロジェクト」 根本和彦

国保基金  
38億円

## 物価高の今こそ 取りすぎた国保税返還を

かねてから巨額の国保基金の活用が求められているもと、5月13日取手社会保障推進協議会のみなさんと取手市(健康福祉部長他)との懇談会が行われました。

会の皆さんから、「国保基金を一般会計へ繰り入れること

は、法的に問題ないとの議会答弁をどう考えているか」「県内で低い国保税というが、基金が38億円もある。引き下げをおこなうべき」など活発な意見が出されました。市は基金38億円の用途について、「幅広い議論が必要。国保税の県統一化

で、税が引き上がった時に基金を使いたい」と繰り返すばかりです。



国保税問題で市と懇談する取手社会保障推進協議会の役員と、左から遠山・加増議員 5月13日



## 過剰な保険税で基金ため込みの 不当会計改めよ

取手市国保会計は、今日まで国保税を取り過ぎ、毎年約10億円の余剰金で基金積みましを、10数年繰り返してきました。

市は国保会計の単年度決算を適正に行うならば、余剰金発

生の時点で当然保険税率の見直しを行なうべきでした。

改善を図らず、すでに後期高齢医療に移行した人の保険税も含み、過剰な保険税徴収を行う不当会計を続けた市の責任が問われています。

日本共産党は、

- ①国保税の大幅引き下げ、
- ②巨額にためこまれた基金の一部を速やかに一般会計に繰り入れ、後期高齢者支援への

活用を図ることを提案し、市民と力を合わせ、議会での他党派との共同を呼びかけ実現に努めています。